

※内はロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。

●部材の固定

・必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。また、施工後ねじ・ボルトに緩みがないか点検してください。

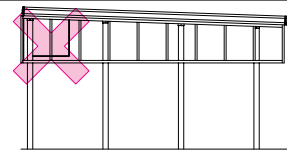
●設置条件

・棚取付けの際、本体柱ピッチは指定以下にしてください。(必要に応じて柱本数を増設してください。)

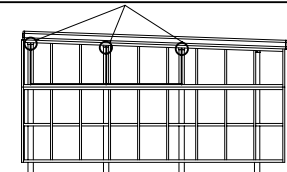
■施工上のお願い

- ・取付けは専門業者が行ってください。
- ・施工するときはお願いラベルがお施主様に見えるように取り付けてください。
- ・側面上段にサイドスクリーンを取り付けるときは幅方向に上吊り棚は取り付きませんので、上吊り棚は長さ方向に取り付けてください。
- ・サイドスクリーン3方囲いで上吊り棚を長さ方向に取り付ける場合で一番この配の高いより(大)に取り付ける場合は吊材の切断が35mm余計に生じます。
- ・幅30の幅方向に上吊り棚を取り付けるときは根太掛けの切り詰めが必要です。その際、不必要な加工穴がありますので同梱の穴ふさぎシールを張ってください。
- ・長さ方向に取り付けるとき、2スパン用の上吊り棚セット内の根太掛けを切り詰める場合は左右均等に切断してください。
- ・幅55,60には1スパン用の上吊り棚を取り付けてください。

※台形サイドスクリーンを付ける場合は幅方向に棚は取り付けられません。



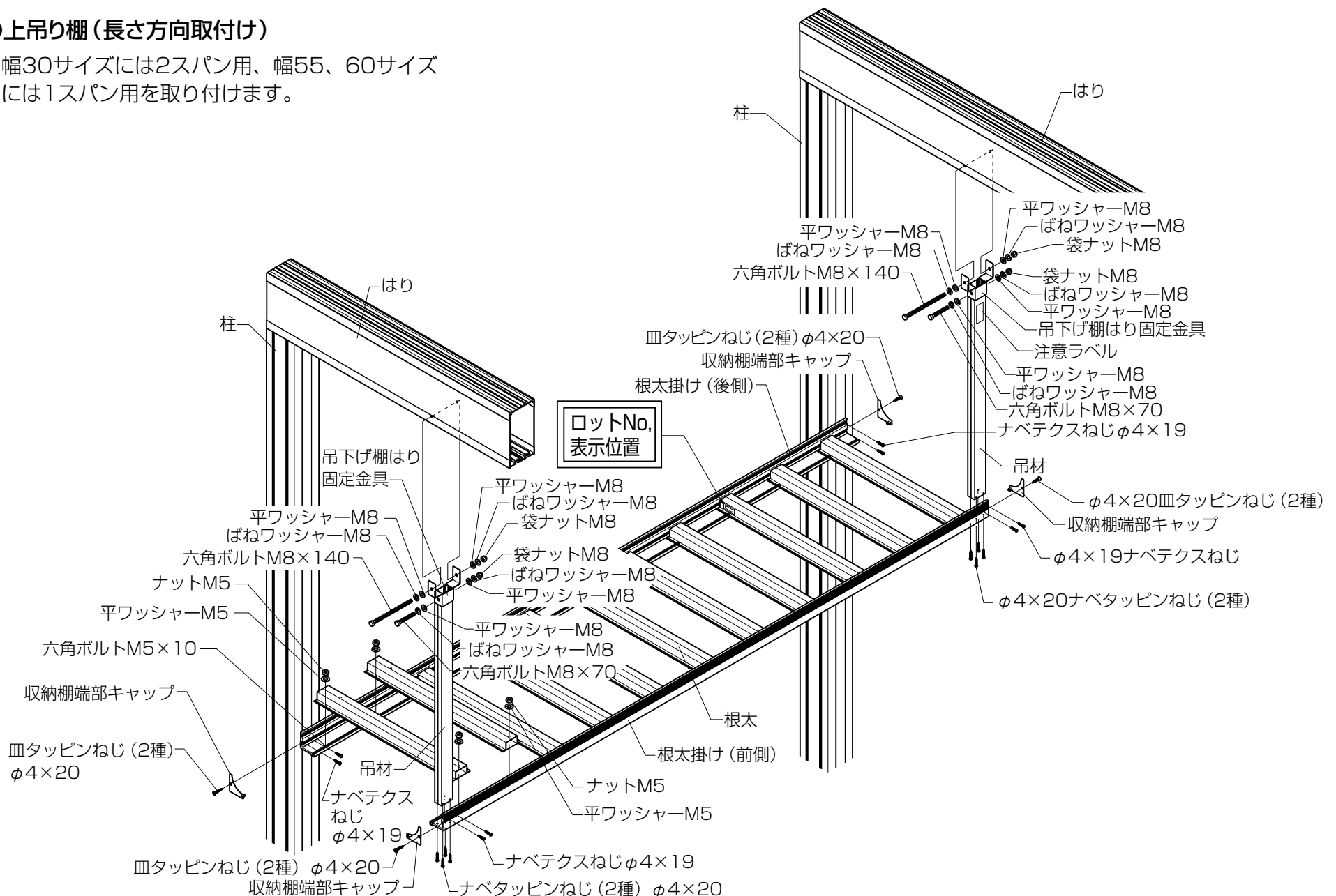
※サイドスクリーン3方囲いの長さ方向に上吊り棚を取り付ける場合はこの配の高いよりに取り付ける吊材に切り詰めが余計に生じます。



■構成図

●上吊り棚(長さ方向取付け)

※幅30サイズには2スパン用、幅55、60サイズには1スパン用を取り付けます。



■部材切詰め早見表

(単体)

呼称	取付け方向	上吊り棚	柱スパン	吊材		根太掛け		
				吊材ピッチ	切詰め	寸法	片側切詰め	左右切詰め
5530,5555(梁3本)	長さ	1スパン	2100	2100	○	2150	300	—
6030,6055(梁3本)	長さ	1スパン	2400	2400	○	2450	切詰め無し	切詰め無し
5555(梁4本)	長さ	2スパン	1400	1400	○	2850	—	200
5560(梁4本)	長さ	2スパン	1400	1400	○	2850	—	200
6055(梁4本)	長さ	2スパン	1600	1600	○	3250	切詰め無し	切詰め無し
6060(梁4本)	長さ	2スパン	1600	1600	○	3250	切詰め無し	切詰め無し
※ 幅30	幅	2スパン	2915	2840	×	2890	360	—
※ 幅55	幅	1スパン	2400	2400	×	2450	切詰め無し	切詰め無し
※ 幅60	幅	1スパン	2400	2400	×	2450	切詰め無し	切詰め無し

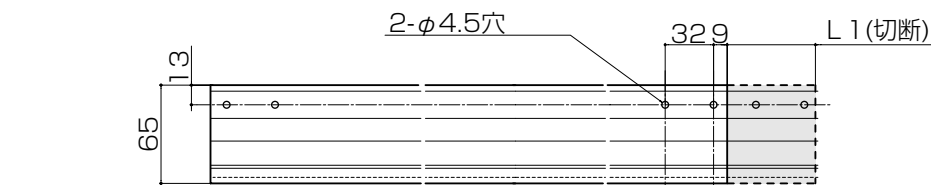
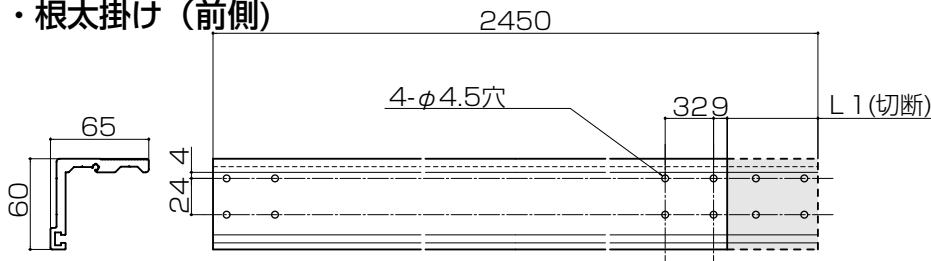
※渡し部材は長さ方向の柱ピッチが2400のときは加工が必要ありません。

※サイドスクリーン3方囲いで棚を長さ方向に取り付ける場合で一番こう配の高いはり(大)に取り付ける場合は吊材の切断が35mm余計に生じます。

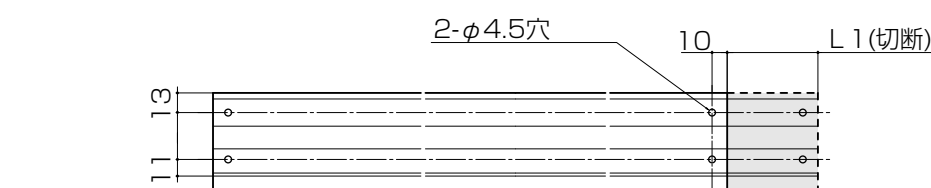
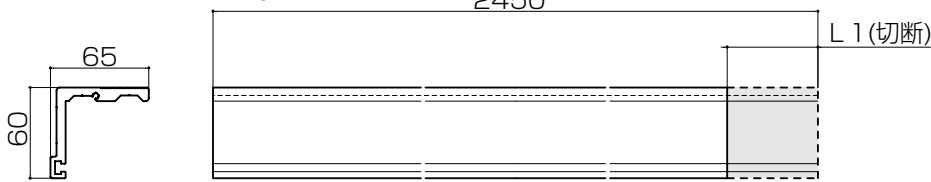
■部材の加工

①1スパン用を5530サイズに取り付ける場合の根太掛けの加工(L1=300)

・根太掛け(前側)

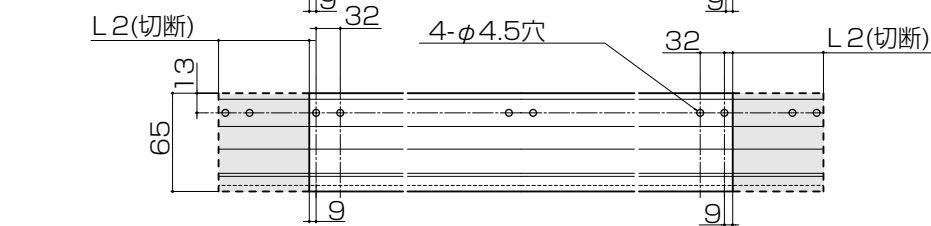
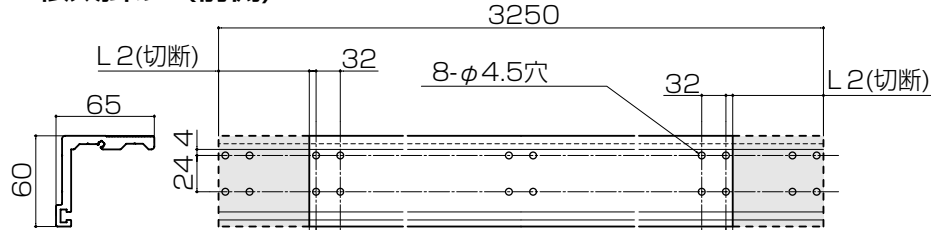


・根太掛け(後側)

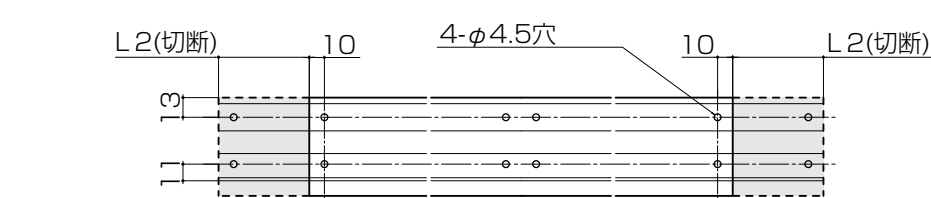
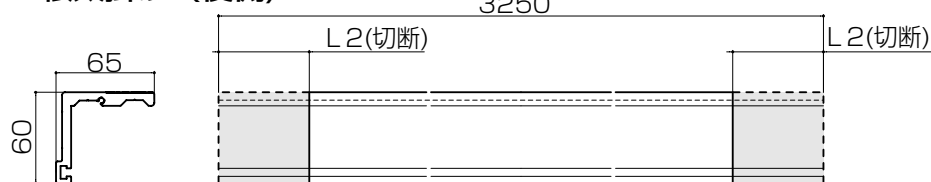


②2スパン用を5555サイズに取り付ける場合の根太掛けの加工(L2=200)


・根太掛け(前側)



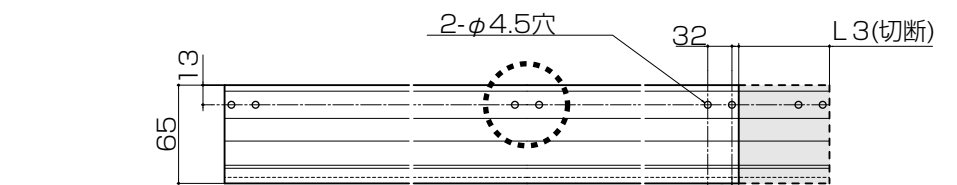
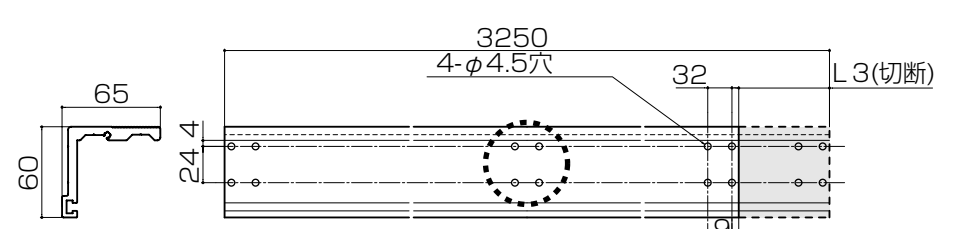
・根太掛け(後側)



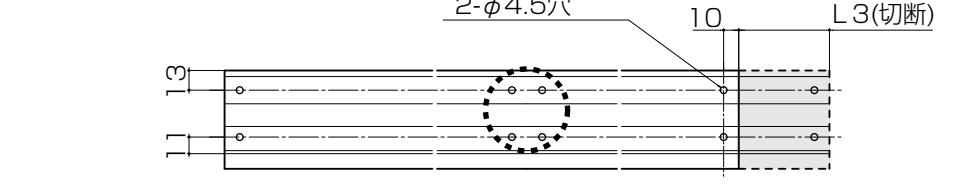
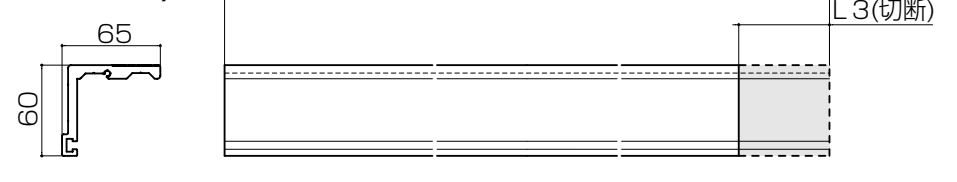
③2スパン用を幅方向30サイズに取り付ける場合の根太掛けの加工(L3=360)

※で囲んだ穴にφ15の穴ふさぎシールを張ってください。

・根太掛け(前側)



・根太掛け(後側)



④吊材の加工

・吊材



■根太掛け切断公式と吊材切断公式

なお、長さ方向の吊材ピッチは柱ピッチと同じです。

①1スパン用(長さ方向)
 $L1 = 2450 - \{(\text{吊材ピッチ}1) + 50\}$

②2スパン用(長さ方向)
 ※両端均等に切断願います。

$$L2 = \frac{[3250 - \{(\text{吊材ピッチ}2) + 50\}]}{2}$$

③2スパン用(幅方向30)
 $L3 = 360$

④吊材の加工
 《単体のとき》

$$L4 = (\text{吊材ピッチ}1) \times \tan(2^\circ)$$

$$\tan(2^\circ) = 0.0349$$

《縦連棟のとき》

$$L4 = (\text{吊材ピッチ}1) \times \tan(1^\circ)$$

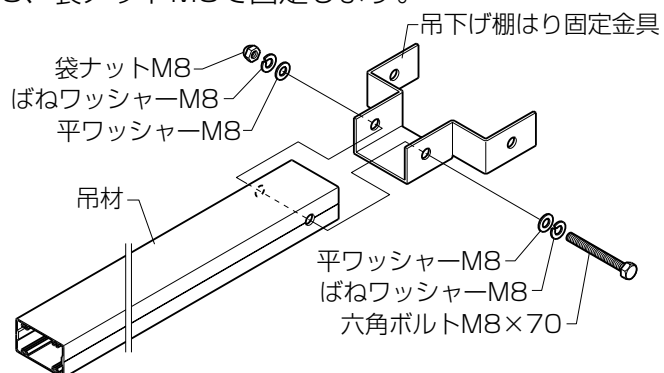
$$\tan(1^\circ) = 0.0175$$

※サイドスクリーン3方囲いで棚を側面に取り付ける場合で一番こう配の高いはり(大)に取り付けるときは35mm余計に切断願います。

■取付け手順(長さ方向取付けの場合)

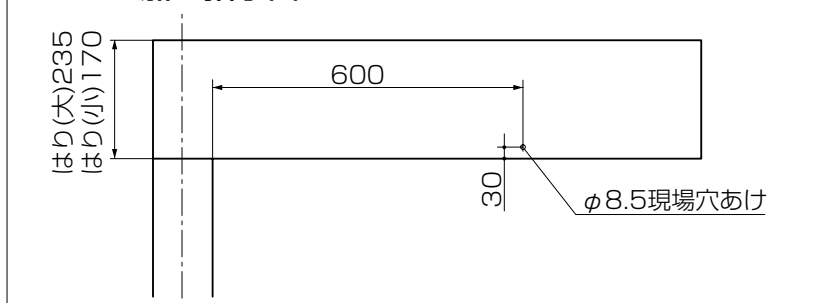
1 上吊り棚の組立て

- ①吊材を切断します。
※切断寸法は吊材切断公式を参考にしてください。
- ②根太掛け(前側)と根太掛け(後側)の切り詰めが必要な場合は切り詰めます。
※切り詰め寸法は根太掛け切断公式を参考にしてください。
- ※2スパン用を長さ方向に付けるときは左右均等に切り詰めてください。
- ③吊材に吊下げ棚はり固定金具を六角ボルトM8×70と平ワッシャーM8、ばねワッシャーM8、袋ナットM8で固定します。

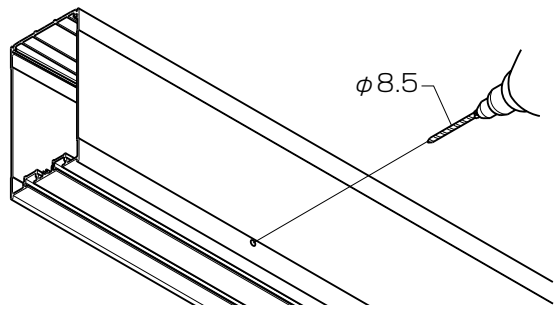


- ④はり(幅方向に取り付ける場合は渡し部材)に吊下げ棚はり固定金具の取付け位置を決めます。
※寸法は、はりの加工指示図を参考にしてください。

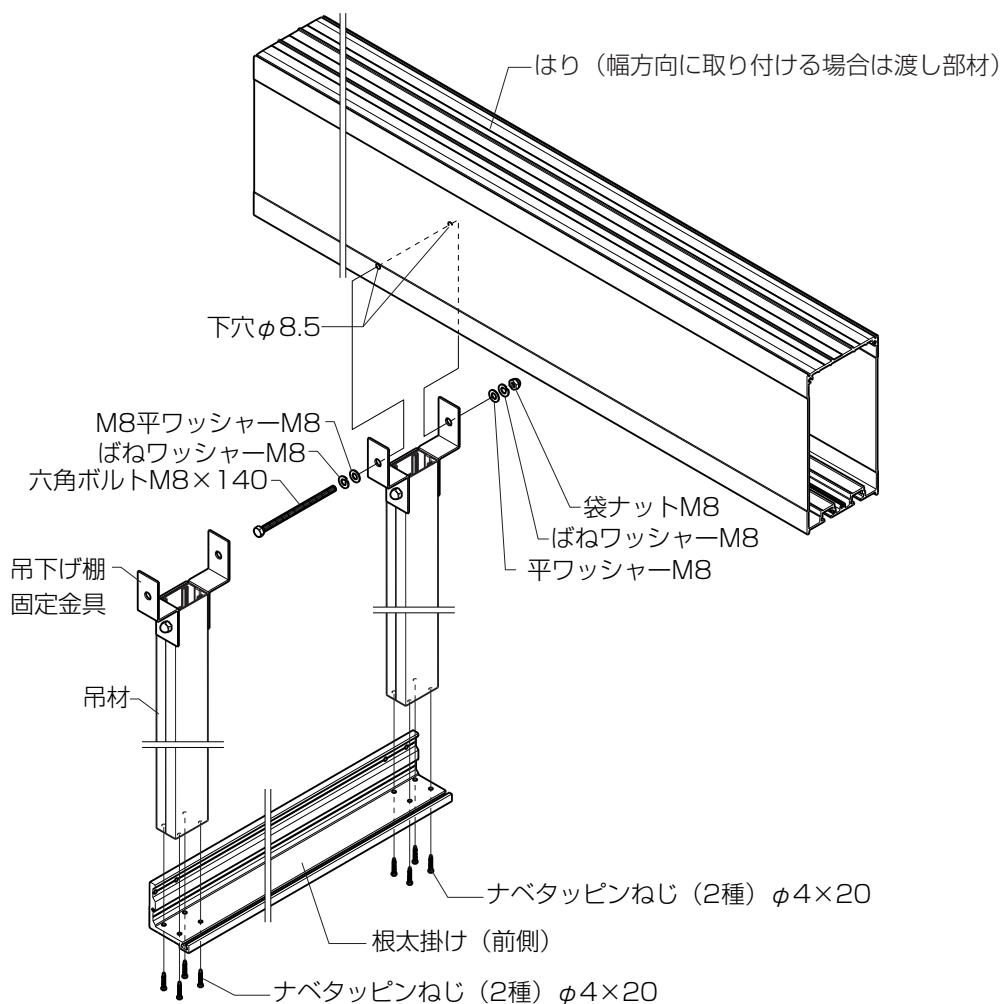
■はりの加工指示図



- ⑤はり(幅方向に取り付ける場合は渡し部材)にφ8.5の穴をあけます。

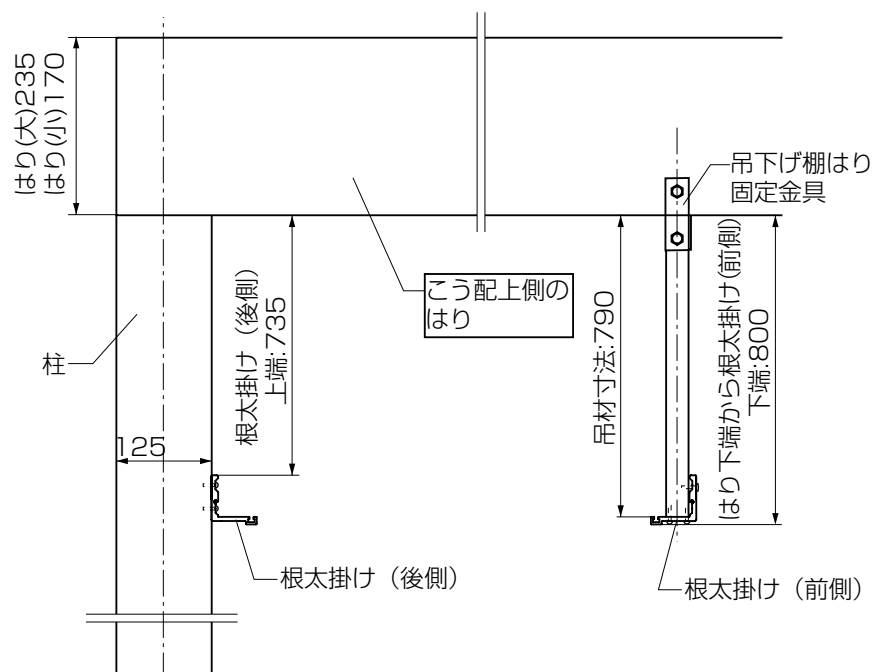


- ⑥吊下げ棚はり固定金具とはりとを六角ボルトM8×140と平ワッシャーM8、ばねワッシャーM8、袋ナットM8で固定します。
- ⑦根太掛け(前側)をナベタッピンねじ(2種)φ4×20で吊材に締付け固定します。

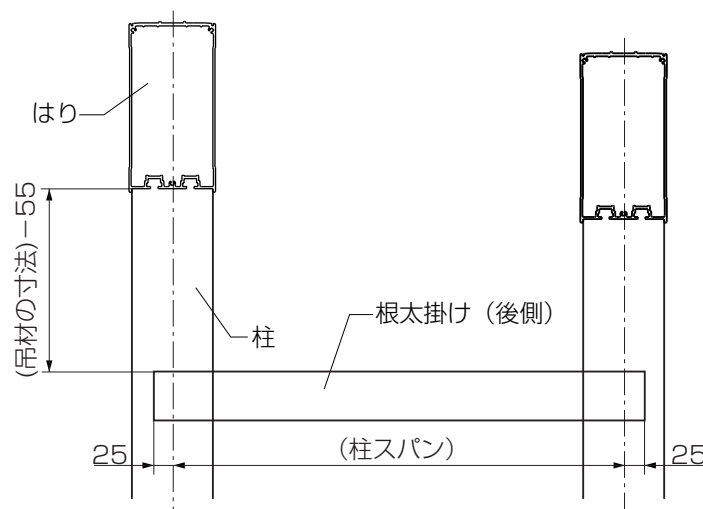


- ⑧根太掛け(後側)の取付け位置を決めます。
※位置は、根太掛け(後側)取付け位置指示図を参考にしてください。

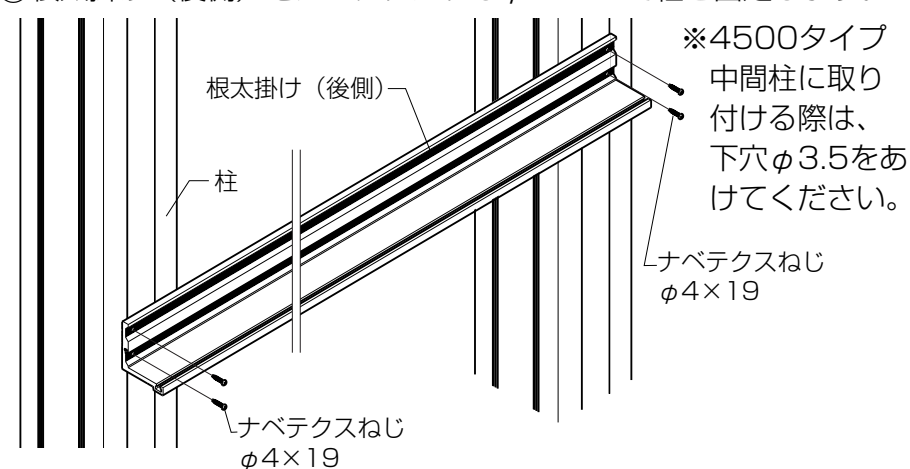
■根太掛け(後側)取付け位置指示図



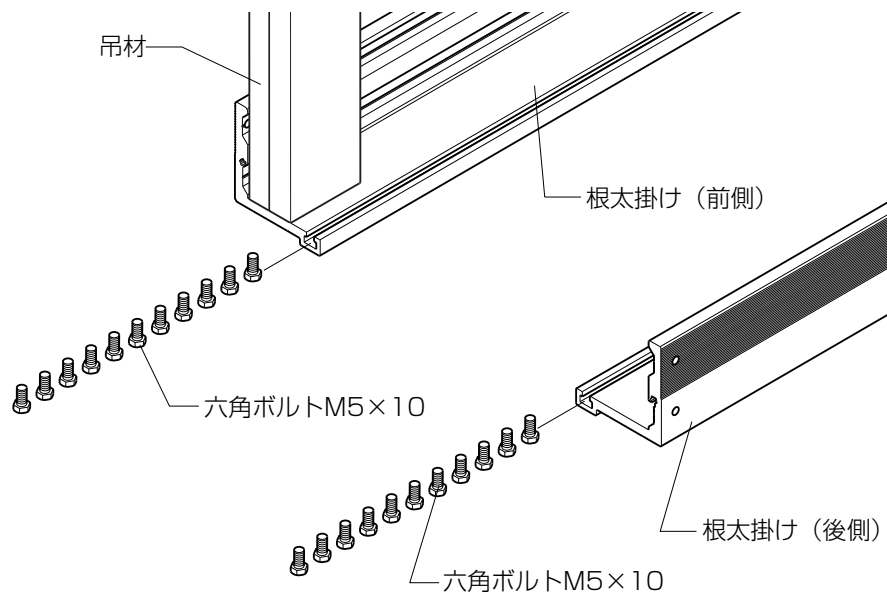
根太掛け(後側)取付け位置
[はりの下端から根太掛け(後側) = (吊材の寸法) - 55]



- ⑨根太掛け(後側)をナベテクスねじφ4×19で柱と固定します。



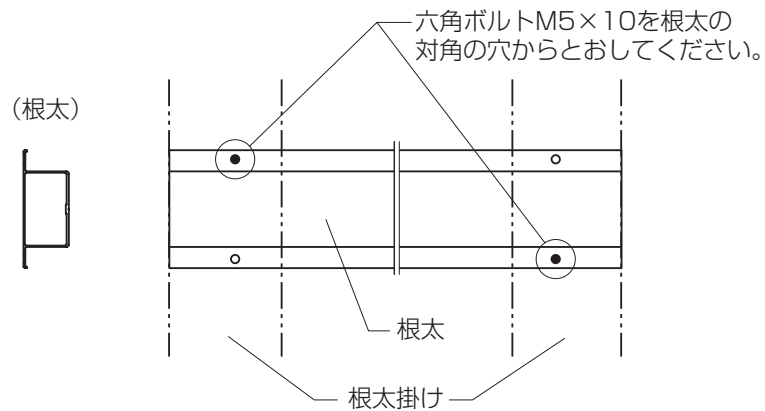
- ⑩根太掛け(前側と後側)に使用する根太の本数分の六角ボルトM5×10を挿入します。
※根太本数は1スパン用が11本で、2スパン用が14本です。



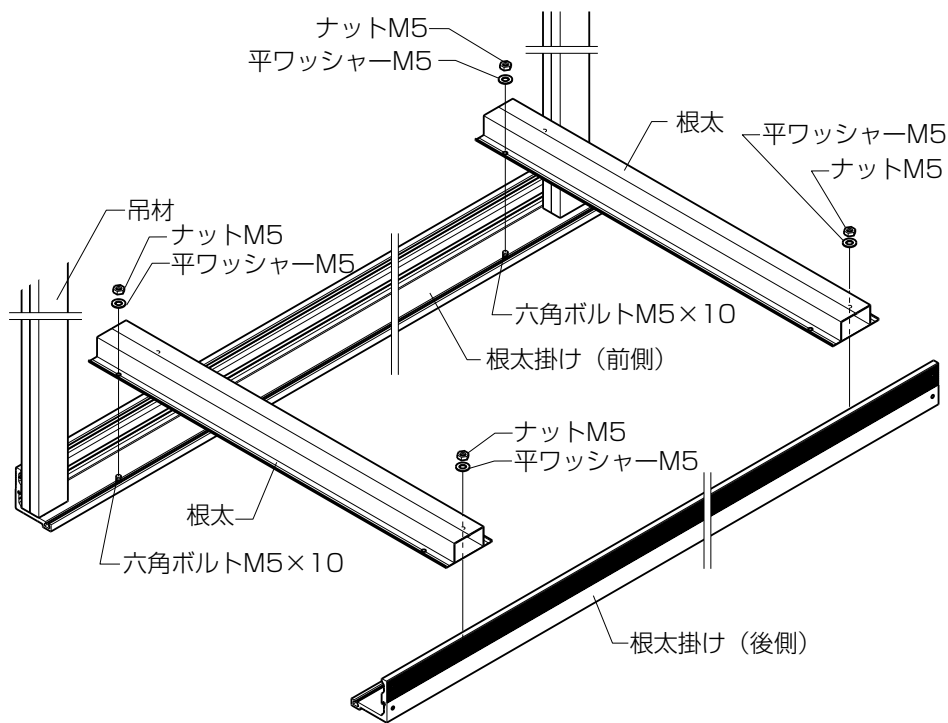
2 根太の固定

①根太にあってある穴に根太掛けに挿入した六角ボルトM5×10をとします。

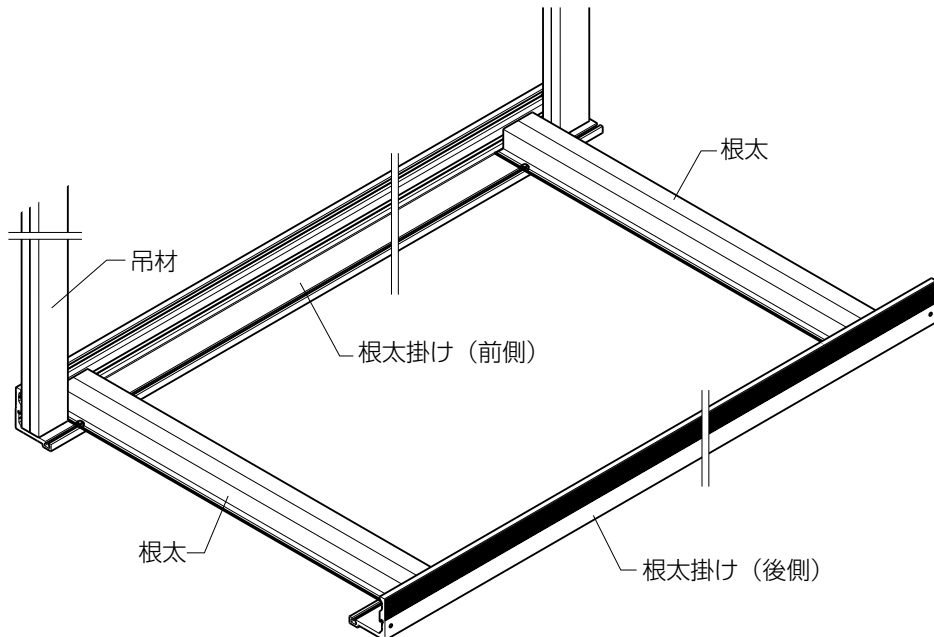
※六角ボルトM5×10は根太の対角の穴からとおしてください。



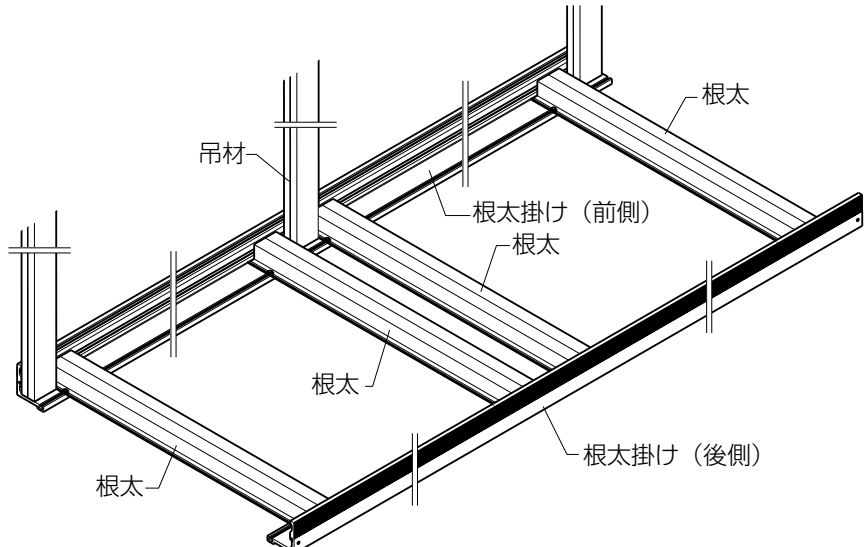
②根太の穴からとおした六角ボルトM5×10を平ワッシャーM5とナットM5で仮止めします。



③両端の根太を吊材にあてた状態でナットM5を本締めします。



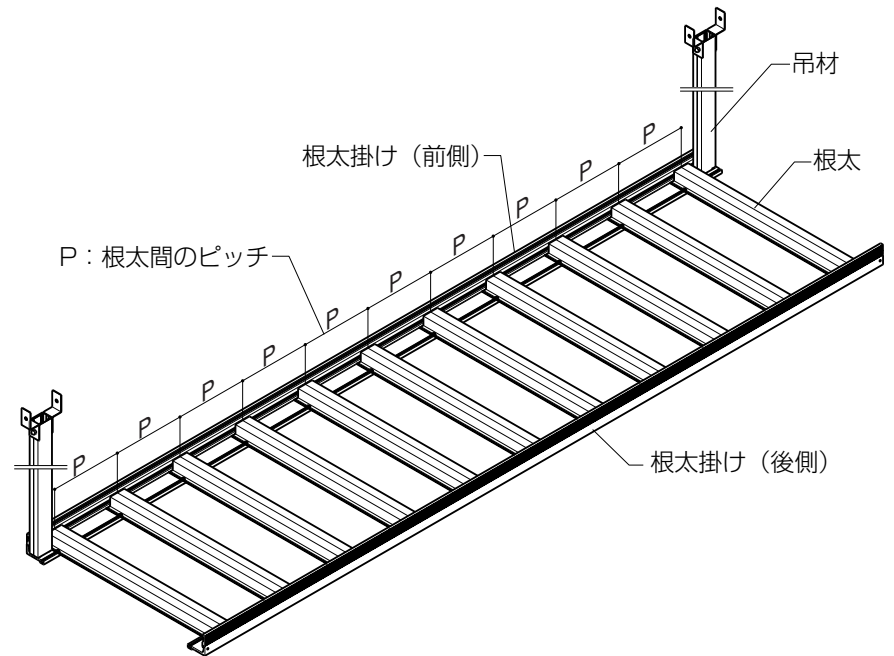
④2スパン用を側面に取り付けて吊材を3本使用する場合は中央の吊材の両端に根太をあてた状態でナットM5を本締めします。



⑤残りの根太を両端からの間隔を測り、配置します。

※根太のピッチは根太ピッチ公式を参考にしてください。

⑥配置した根太と根太掛けとを六角ボルトM5×10で本締めします。



■根太ピッチ公式

・長さ方向に1スパン用を取り付けるときの根太ピッチ：P1
(根太本数：11本)

$$P1 = \frac{\{(\text{吊材ピッチ}) - 128\}}{10}$$

・長さ方向に2スパン用を取り付けるときの根太ピッチ：P2
(根太本数：14本)

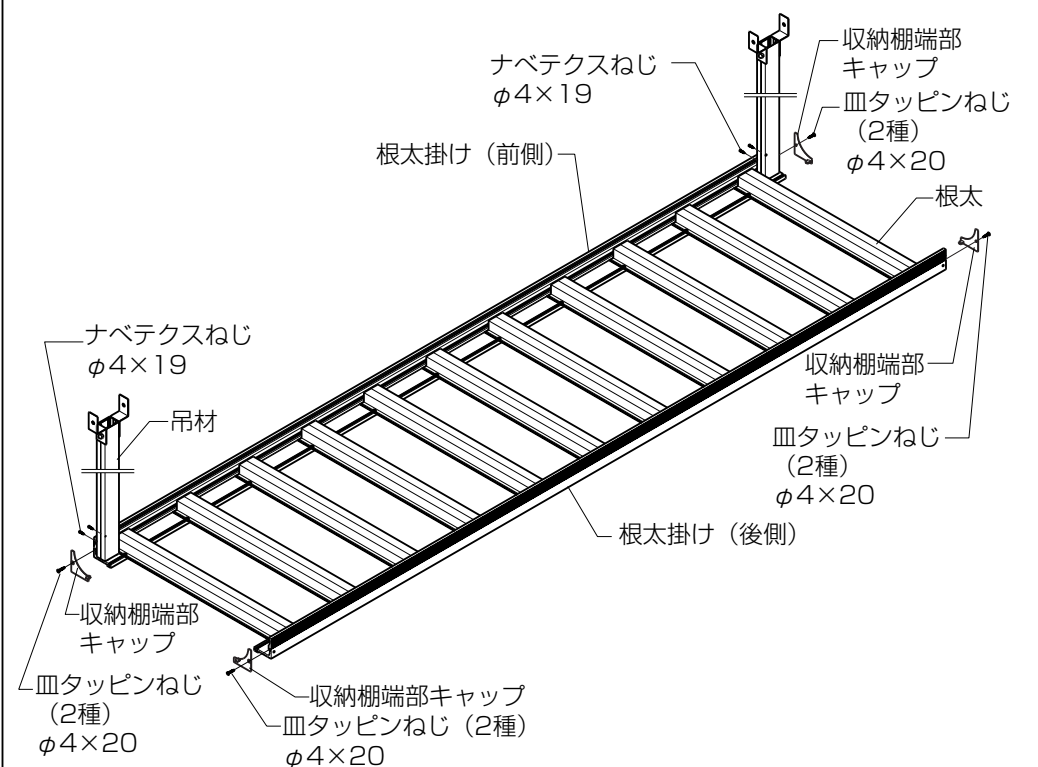
$$P2 = \frac{\{(\text{吊材ピッチ}) - 128\}}{6}$$

・幅方向に2スパン用を取り付けるときの根太ピッチ：P3
(根太本数：14本)

$$P3 = \frac{\{(\text{吊材ピッチ}) - 128\}}{13}$$

⑦収納棚端部キャップを皿タッピンねじ(2種)φ4×20で締め付け固定します。

⑧吊材と根太掛け(前側)をナベテクスねじφ4×19で固定します。



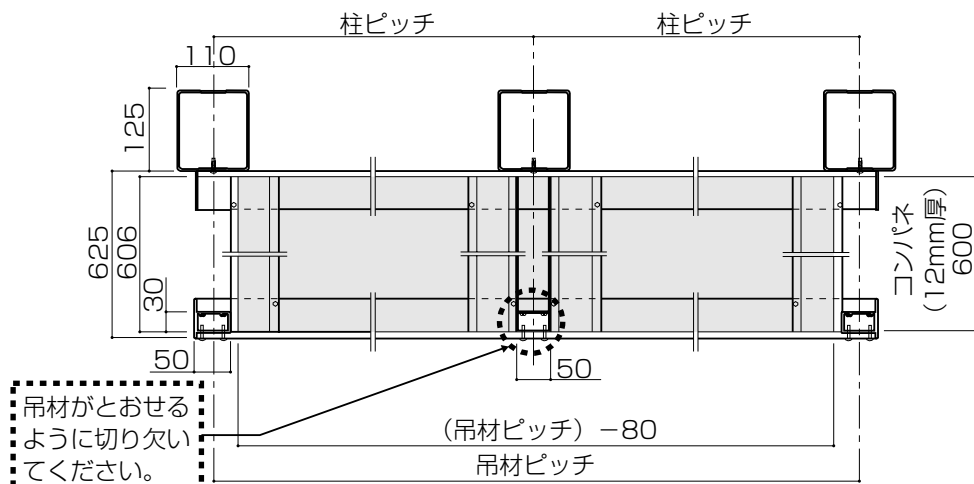
⑨上吊り棚セット2スパン用を幅方向に取り付けた場合で吊材を2本使用した場合は根太掛け(前側と後側)にあいたままになっている穴に同梱の穴ふさぎシール(φ15)を張ります。

3 コンパネの取付け（現地調達）

上吊り棚にお好みでコンパネを取り付ける場合は以下の順序を参考にしてください。

①根太の上にコンパネをのせ、皿テクスねじφ4×19で取り付けます。
 なお、皿テクスねじφ4×19とコンパネ（12mm厚）を現地調達してください。

※2スパン用にコンパネを取り付ける場合は、中央におす吊材の加工が必要になります。

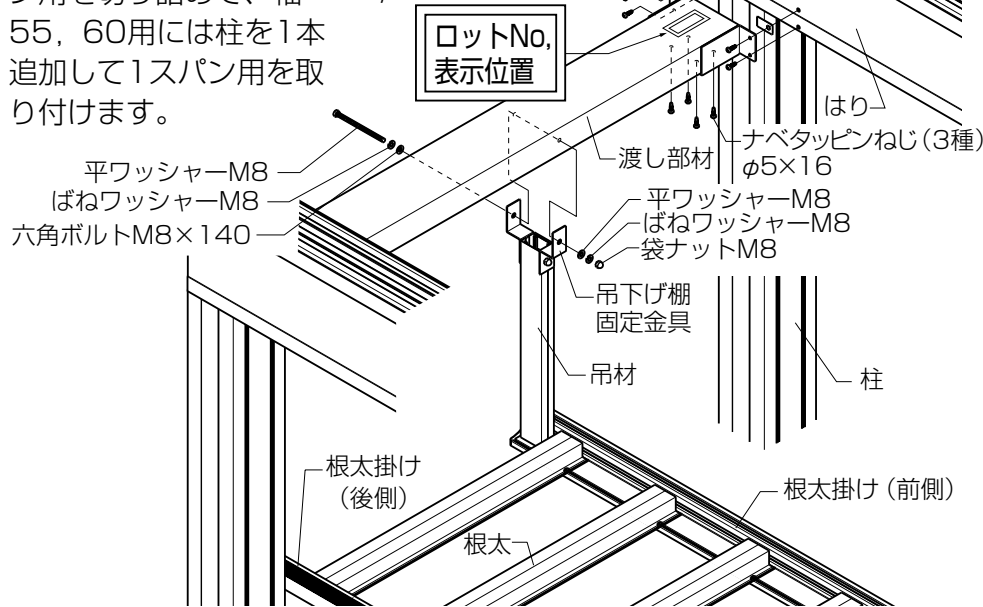


構成図

●上吊り棚（幅方向取付け）

※幅30タイプには2スパン用を切り詰めて、幅55、60用には柱を1本追加して1スパン用を取り付けます。

渡し部材取付けスペーサー
 ナベタッピンねじ(3種)
 φ5×16



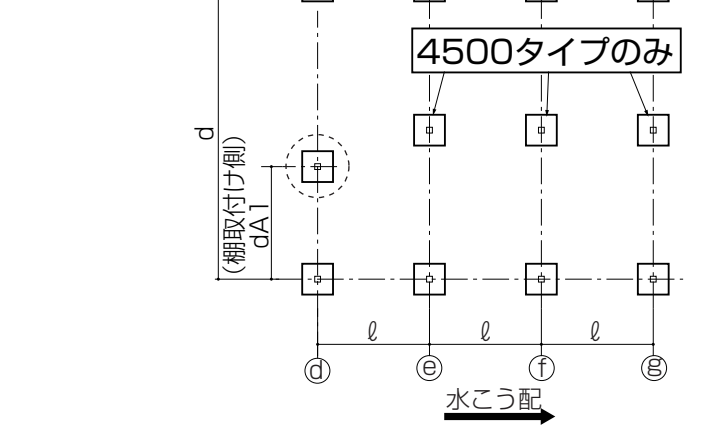
取付け手順（幅方向取付けの場合）

4 柱の追加

①幅55、60に取り付けるときは柱を1本追加し、埋め込みます。
 ※柱埋め込みは柱埋め込み位置指示図と柱位置指示表を参考にしてください。
 ※幅30には柱の埋め込みは必要ありません。

●柱埋め込み位置指示図

●幅55、60



●柱位置指示表

積雪タイプ	柱	サイズ呼称	l	d	dA1
3000タイプ	柱セット 1本	5555	1400	5315	2438
		6055	1600	5315	2438
		5560	1400	5915	2438
		6060	1600	5915	2438
4500タイプ	中間柱セット 1本	5555	1400	5315	2438
		6055	1600	5315	2438
		5560	1400	5915	2438
		6060	1600	5915	2438

※なお、詳細は本体取付け説明書を参照してください。

5 渡し部材の取付け

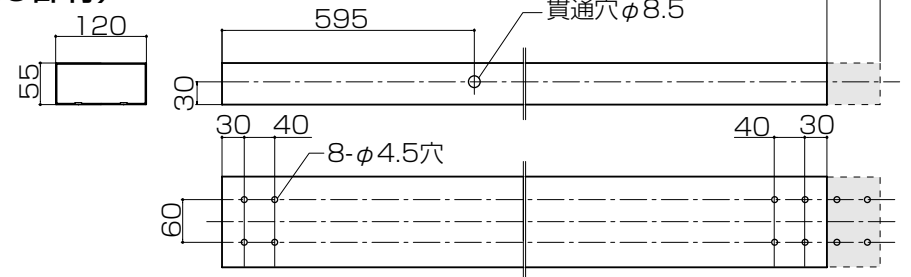
①渡し部材を取り付けるはりの間隔に合わせて切断し、加工します。
 ※加工は渡し部材加工指示図を参考にしてください。

●渡し部材切断公式

$$L5 = 2280 - (\text{柱ピッチ}) + 120$$

●渡し部材加工指示図

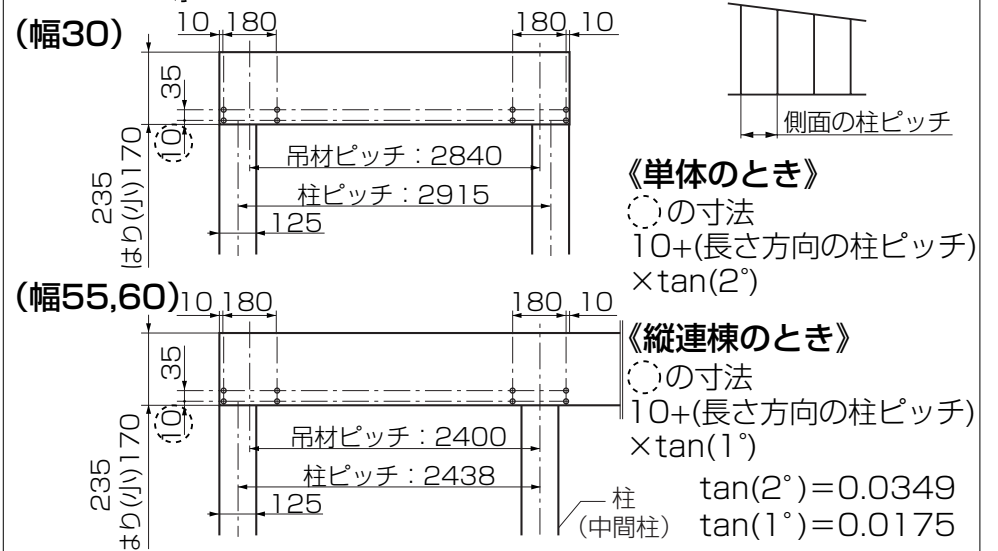
(渡し部材)



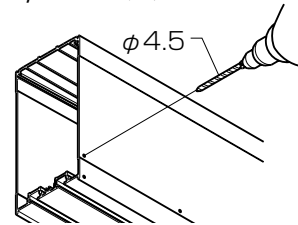
②はりに吊下げ棚渡し部材固定部品を取り付ける位置を決めます。
 ※加工ははり加工指示図（幅方向取付け）を参考にしてください。

●はり加工指示図（幅方向取付け）

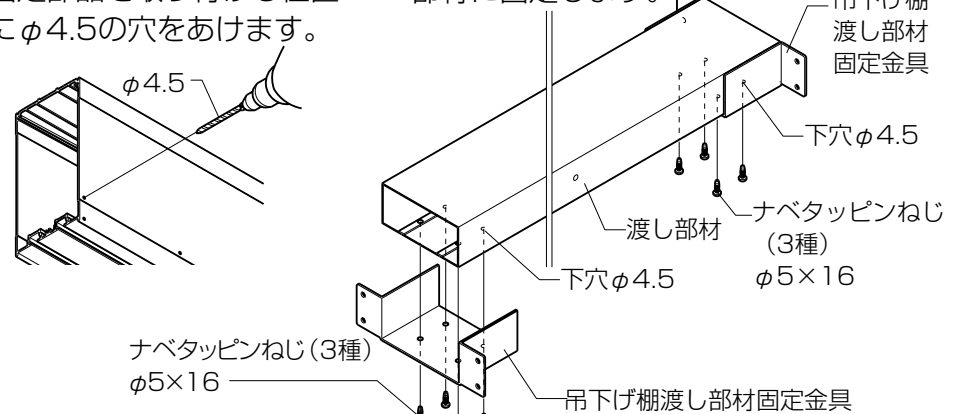
この図はこう配の高い方の指示図です。こう配の下がった方に加工するときは○の寸法を変更してください。



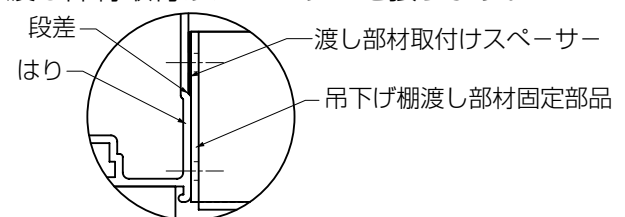
③はりに吊下げ棚渡し部材固定部品を取り付ける位置にφ4.5の穴をあけます。



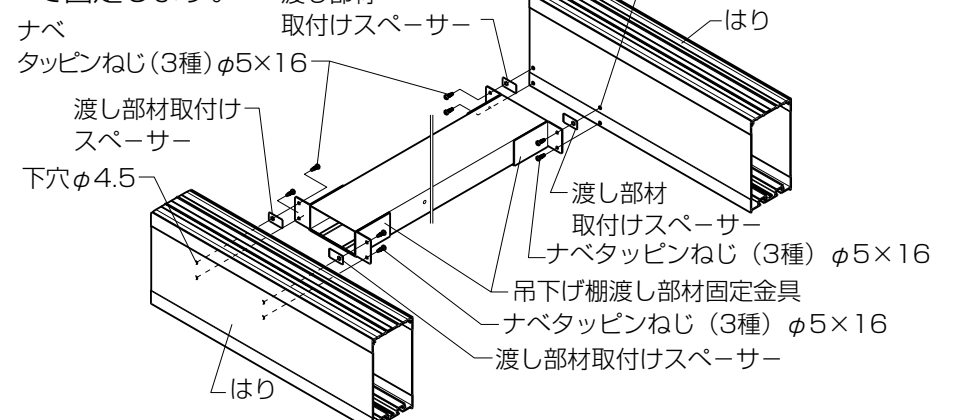
④吊下げ棚渡し部材固定金具を渡し部材に固定します。



⑤吊下げ棚渡し部材固定部品を固定する際、はりの段差がある個所に取付ける場合は渡し部材取付けスペーサーを張ります。



⑥はりに吊下げ棚渡し部材固定部品をナベタッピンねじ(3種)φ5×16で固定します。



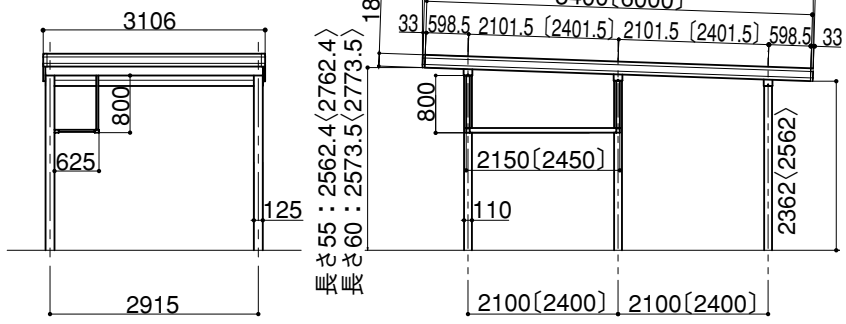
※以降の取付けは取付け手順（幅方向）の1上吊り棚の組立て、2根太の固定を同様に行います。

■ 姿図・基本図

(姿図)

上吊り棚 (長さ方向タイプ)

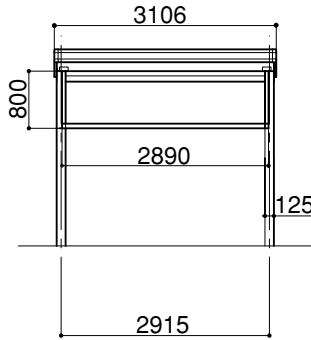
● 1台駐車用



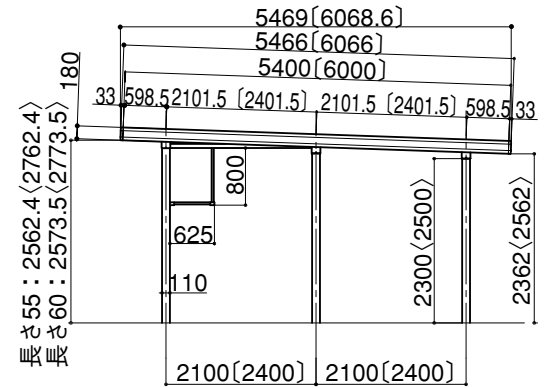
※1 [] 内は長さ60°の寸法です。
 ※2 < > 内はハイルーフ柱の寸法です。

上吊り棚 (幅方向タイプ°)

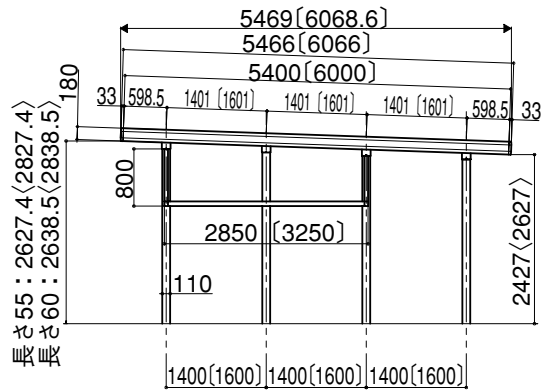
● 1台駐車用



※1 [] 内は長さ60°の寸法です。
 ※2 < > 内はハイルーフ柱の寸法です。

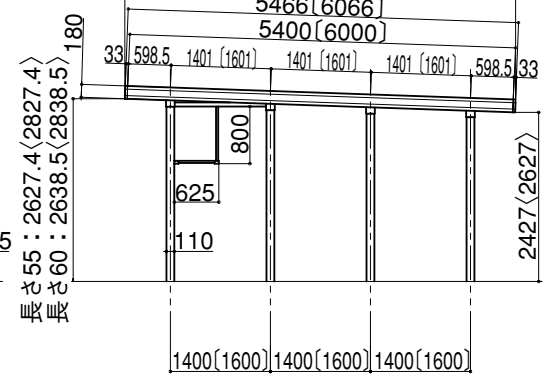
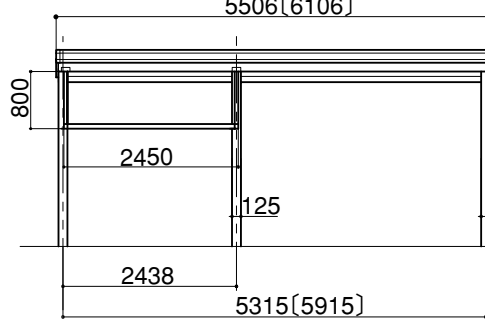


● 2台駐車用



上吊り棚 (幅方向タイプ°)

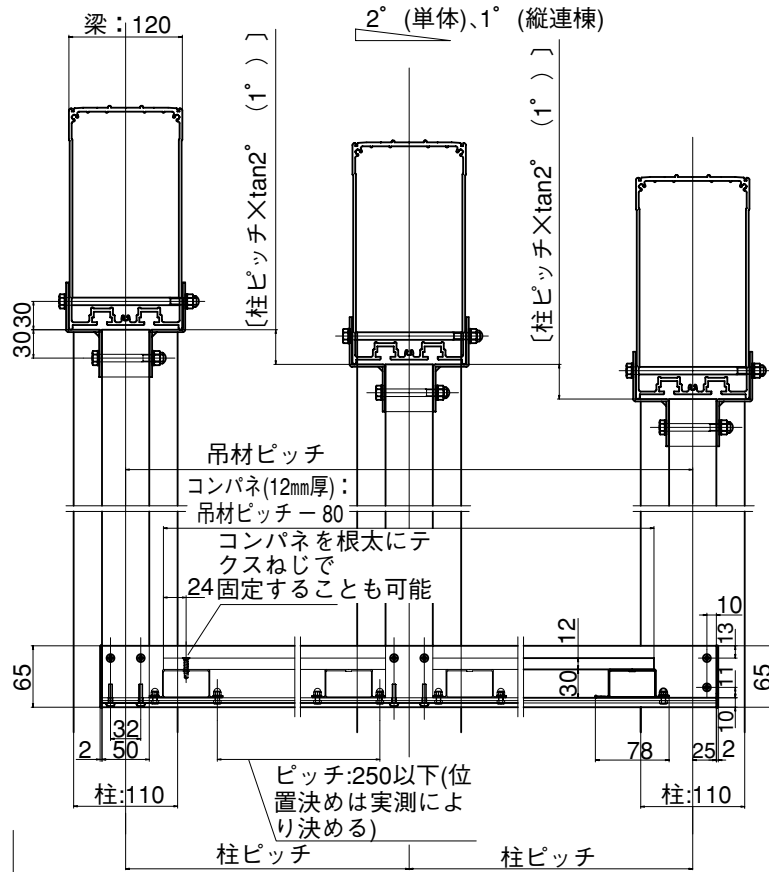
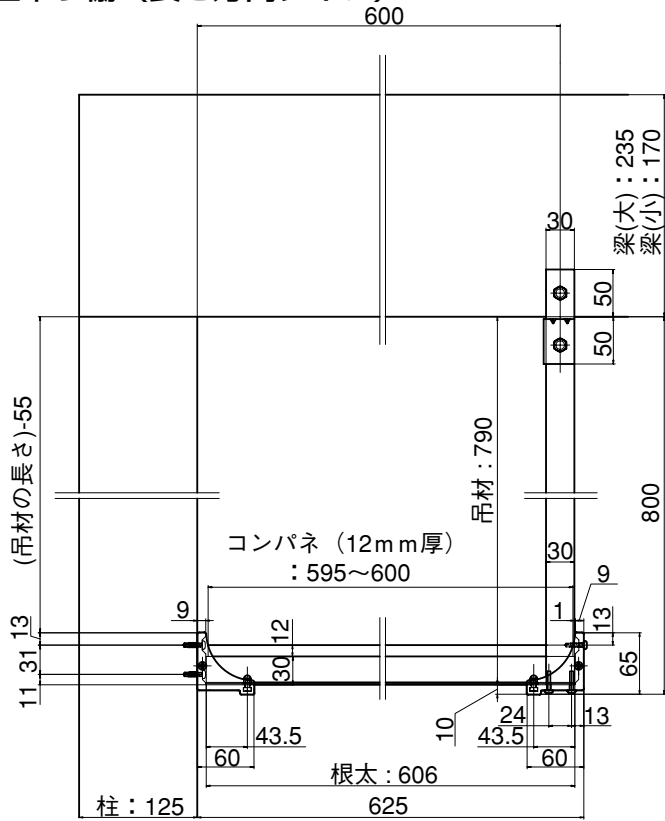
● 2台駐車用



※1 [] 内は長さ60°の寸法です。
 ※2 < > 内はハイルーフ柱の寸法です。

(基本図)

上吊り棚 (長さ方向タイプ)



上吊り棚 (幅方向タイプ°)

